

授業を受けて

「命の授業」を通して、田んぼと環境、日本の伝統とのつながりについて子供たちが考えられるようになりました。若尾先生の授業は若尾先生の体験に基づいた話だったので、子供たちが関心をもって話を聞くことができ、総合学習に対する子供たちの意欲が高まりました。

担任

私たちはこんなにも大事な「生命」をもち、「絆」で結ばれている。人それぞれが何か使命があるから、生きていることに気づいた。私は「命の授業」を受けて、しっかりと自分の道を歩みながら、これからの人生を生きていきます。

中学生

「命の授業」の様子



「命の授業」を受けて、この世界を変えていきたいと思った。小さくても、大きくても、汚くても、綺麗でも、一つ一つの命がもっているその光景を輝かせていきたい。心の奥に残るものを若尾さんから学ばせてもらいました。これから先、生きていく上で大きな大きな支えとなるものをいただいて、感謝しています。この思い出を胸にしまって一歩一歩前に進んでいきます。

小学生

自分が今ここに生きていることは奇跡だと思う。どんなに小さな命でも、生きているには変わりがないから、大事にしようと思った。僕は、このことを一生忘れないければ、人を思いやる心をもてると思うし、人を大事にしようとする心をもてると思った。このことをこれから忘れずに、毎日を大事に生きていきます。

小学生

「命の授業」の講演を受講して、改めて、家族やたくさんの人に命の大切さ、ありがたさを伝えていこうと思った。本日は参加して本当に良かったです。少しでも誰かの力になれる人になりたいと思う。

保護者



講演の様子

輪をひろげる

こうした子供たちの行動は、大人たちをも動かす大きな波紋として全国に広がっています。授業の反響は口コミで広がり、今では北海道から九州まで、日本全国の学校から授業の依頼をいただきます。それだけではなく、「命の授業」を受けた子どもたちが日本最大の環境展示会「エコプロダクツ」に出展。小学生で初の出展者となりました。手づくりのブースでは、「命の授業」で学んだ命の大切さを環境教育に結びつけ、自ら学びを実践したのです。また、教育関係者や、PTA、学校の周辺地域住民など、子供たちに心を動かされた大人にも変化が起こっています。

「大人に対して講演する機会も増えてきています。取り組みの意義や、私が授業を通じて実現したい想いなどをお話すると、『大人も変わっていかなくてはいけない』といった多くの反響をいただきます。若尾は実感を込めてそう言います。

教育現場との連携も進んでいます。文部科学省が推奨するESD (Education for Sustainable Development 持続発展教育) の国内好事例として、世界の教育関係者に向けて講演することもしばしば。講演では、授業をきっかけとした子供たちの成長や変化について紹介。好評を博しました。

各国の出席者からは「これだけ本気の活動に触れたのは初めて」「大変感銘を受けた。わが国でも取り組みたい」「児童の『お母さんお父さんに生んでくれてありがとうと言いたい』という言葉に感激した」といった感想を多数いただいています。



子供たちが作った「エコプロダクツ」ブース

CASIO.

カシオ計算機株式会社
CSR推進室

〒151-8543

東京都渋谷区本町1-6-2

Tel : 03-5334-4901 Fax : 03-5334-4547

Tel (若尾) : 090-4942-3180

Mail : csr@casio.co.jp

URL : http://www.casio.co.jp/csr/lessons_of_life/